

令和4年度 第2回 学校関係者評価委員会 議事録	
開催日時	令和4年11月10日（木）17時00分～19時00分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校303教室
参加委員 （★委員長）	★唐鎌 星也（委員長代理）・・佐藤 学・三羽 和彦・小野 宗憲、 欠席者：大越 秀一（委任状）・長岡 正人（委任状）井組 浩紀（委任状）、 佐藤 久雄（代理）
参加事務局 会議録	佐藤 康夫・武井 和則・麻野 利治
	【次 第】 日 時 令和4年11月10日（木）17:00～19:00 会 場 東京工科自動車大学校世田谷校 303 教室 - 開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校 校長 佐藤 康夫 - 委員会成立の確認（事務局） - 議長・書記の選出（事務局案） - 議事（議長） - 第1号議案 前回議事録確認についての質問等 - 第2号議案 公開情報更新について - 第3号議案 令和4年 取り組みに関する進捗状況 - 就職 - 資格取得 - 在籍状況・募集状況 - その他 - 意見交換 - 事務連絡（事務局） - 閉会 <配布資料> ・議事次第 【資料A】 ・令和4年度 第2回学校関係者説明資料 【資料B】 ・セミナー発表会の案内（企画部より） - 開会・校長挨拶（世田谷校：校長） - 委員会成立の確認（事務局） 会則第5条に基づき、出席者、委任状が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。

	3. 議長選出 事務局より委員の卒業生、佐藤委員長代行の唐鎌氏議長に、書記を事務局が代行することで、承認され、以後進行は議長による。 議長代行も卒業生である為、簡単な自己紹介がされた。 4. 議事（議長） 議案 1 前回議事録の確認についての質問等（事務局） 事務局より既に委員に送付してある議事録についての確認が行われた。 委員からの質問事項は無く、議案 1 について審議がなされ承認された。 議案 2 公開情報更新について（事務局） 前回の委員会に於いて公開準備中との報告がされたが、職業実践専門課程の更新が令和 4 年 7 月末に更新されたことを報告し、更新内容が確認できる URL を提示し、委員の方も確認できる旨を報告した。 議案 2 についても承認された。 議案 3 令和 3 年度 事業計画 実績報告（事務局・校長） I.就職 8 月末 100%を目標としているが、若干の遅れがあり 8 月末 95%という結果となった。9 月に入り 100%という結果となった。一部学生に内定の遅れがあったのが要因。 また、就職については 1 級自動車エンジニア科のメーカー系就職 75%以上の目標があり、今年度は 77.5%で目標を達成している。 II.資格取得 資格については卒業式の後の試験となり、報告については後ほどとなるが、資格取得についての取り組みはこれから行っていく。 2 級については筆記 100%目標、1 級については筆記 90%、口述 90%の目標であるが 100%を目指して取り組む。 1 級は今期より、3 校共通模擬試験や JAMCA 模擬試験を行う。この様な事を経て対策を行い、卒業して国家試験に臨む。 就職の決まっている学生達であり、100%取得できるよう対策を行っていく。 III. 在籍状況・募集状況 在籍状況については、まだ結果はすべて出ていないので、現在の退学、休学状況について報告となる。 2022 年度は現在の退学率 1.3%、ペースとしては昨年と同時期 1.4%と同等となっているが、目標の 5%以内になるようしっかり指導していく。
--	--

	募集状況は、来年4月に入学する予測も含めて報告させていただく。 今年度9月 - 10月の実績について、昨年度は60名であったが、今年度は50名となっている。1級・整備については、ほぼ昨年度と同じ状況で推移している。 今年度は、メルセデス・ベンツコースの出願が少ない。昨年も25名定員を達成できていなかったが、今年度も出足があまりよくない。全体を通していても良いとは言えない状況である。募集については次年度を見据え、2年生へのアプローチが重要で、このアプローチが良くないと次年度に影響が出る。メルセデス・ベンツコースについては、昨年の1・2年生の参加状況が良くなかったのが、結果として出ている。 今後は3月までしっかり、見学生一人ひとりにアプローチをかけていく。 高校生の見学、大学からの進路変更、社会人が動き出すなど、動きに変化が出る可能性もあり、昨年並みの入学が確保できるよう取り組んでいきたい。 IV. その他 高等教育無償化 ・国費を使った教育支援で、大学等（専門学校含む）高等教育機関に通う学生に対しての支援ですが、当校では現在23名が対象となっており、昨年比1.65倍となっている。23名というと1クラスの人数に相当する。入学生の確保や在校生の為に、毎年しっかり更新し継続していきたい。 高等教育無償化は国費を学生に還元していますので、出席・成績（GPA）など制約も厳しく、教務管理や我々の教育体制も変えていなくてはならないと考えます。 小山学園教育日程 ・令和4年10月から令和5年の入学式までの教育日程（予定）について各日程の内容についても説明された。 5. 質疑・意見交換 質問. 資料の年度違いの指摘（委員） 回答. 修正をお願いします。（事務局・校長） 質問. 無償化の金額の範囲と大学でも受けられる奨学金と同等のものか。また広報的に有利な部分はあるか。（委員） 回答. 家庭の収入により金額の範囲は様々で、範囲としては入学金・授業料となります。大学や専門学校で受けられる。日本学生支援機構の奨学金とは異なり原則として返還義務はなく、財源としては消費税5%が財源となっています。 広報的には他校も行っているため効果は無いが、自動車が好きで当校はの休学希望があるとき、学費等金銭面の問題がある場合に効果があると思われる。高校でも無償化については知られて入り、オープンキャンパスに参加時に説明を行い、まずはサイトで対象になるのかを確認
--	--

してもらっている。(事務局・校長)

質問. 昨年メルセデスの入学が少なかったのは、コロナが影響しているのか。(委員)

回答. 関係はあります。 様々なイベントを打ち出しましたが、コロナの感染拡大があり、人が集まらなかったということが影響しています。

また、SNS 等でメルセデスの広報を行いたいのが、動画等はメルセデス・ベンツ日本の確認が必要で、時間がかかり的確な時期に広報が行えないことがある。品川校のハーレーコースに於いては、日本全国の正規代理店に入学案内が置いてある事が広報的に効果がる。メルセデスについては小さなパンフレットも NG となっている。今年度の募集スタートが良い状況でなかったため、現在メルセデス・ベンツ日本も出来る範囲で協力し広報を展開している。(事務局・校長)

質問. 若い人の車離れが、現在の募集に大きく影響していますか。(委員)

回答. 影響はあります。しかし今年度品川校のハーレーコースは募集が好調となっています。コロナの影響で二輪ブームとなりその流れもあります。一概に若者が車離れをしている感じでは無いのかも知れない。バイク好きから自動車好きになる可能性もあると考える。

一番大きな影響は、大学全入時代になっている事が考えられる。車好きな若者も大学に工学部に入り、違う産業に就職というケースもあると思われる。

議案 3 について承認された。

6. 事務連絡 (事務局)

学校関係者評価委員会 自己評価報告書の進め方

2022 年度 (令和 4) 年度の自己点検評価報告のスケジュールについての説明と委員へのお願いが行われた。

事務連絡の後、更に意見交換が行われた。

質問. 募集についての今後の展開はどうなりますか。

今年度については、ギリギリまで募集について力を入れていくが、次年度に向けての募集活動も進めている。1・2 年対象にイベントを組んで行って、来年度については上向きになるようにしていく。

1 級については昨年より良いペースなので、2 クラスを目指し活動を行っています。

留学生の入学が無いのが全体の数に影響していますが、来年度も厳しいと思われますが、再来年度は回復している見込みがある。

7. 閉会

令和4年度第2回学校関係者評価委員会が閉会された。

以上

委員会風景

